

# 児童発達支援自己評価表

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 21日

事業所名 近江八幡市子ども発達支援センター

|          |    | チェック項目                                                                                                                       | はい   | いいえ | 工夫している点                                       | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|-----------------------------------------------|--------------------------|
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                                                                                                    | ○    |     |                                               |                          |
|          | 2  | 職員の配置数は適切であるか                                                                                                                | ○    |     |                                               |                          |
|          | 3  | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている                                               | ○    |     |                                               |                          |
|          | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている                                                                           | ○    |     | ・毎日掃除をし、清潔に保っています。                            |                          |
| 業務改善     | 5  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している                                                                                  | ○    |     | ・曜日指定、時間指定の職員が多く、全員が参画するのは難しかったが、可能な職員は参画できた。 | ・職員間で連携を取り、周知できるよう努めます。  |
|          | 6  | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている                                                                | ○    |     |                                               |                          |
|          | 7  | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している                                   | ○    |     |                                               |                          |
|          | 8  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                                                                                               | 実施なし |     |                                               |                          |
|          | 9  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                                                                                  | ○    |     |                                               |                          |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している                                                                       | ○    |     |                                               |                          |
|          | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している                                                                                     | ○    |     |                                               |                          |
|          | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○    |     |                                               |                          |
|          | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている                                                                                                        | ○    |     |                                               |                          |
|          | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている                                                                                                         | ○    |     |                                               |                          |
|          | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                                                                                       | ○    |     |                                               |                          |
|          | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している                                                                                 | ○    |     |                                               |                          |

|              |    |                                                                                                      |      |  |                                 |                            |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--|---------------------------------|----------------------------|
|              | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している                                                       | ○    |  |                                 |                            |
|              | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                                                  | ○    |  |                                 |                            |
|              | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                                                                 | ○    |  |                                 |                            |
|              | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している                                                                | ○    |  |                                 |                            |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                                                    | ○    |  |                                 |                            |
|              | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている                                                                | ○    |  |                                 |                            |
|              | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)<br>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている                      | 実施なし |  |                                 |                            |
|              | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている                                  | 実施なし |  |                                 |                            |
|              | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                                        | ○    |  |                                 |                            |
|              | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                                                    | ○    |  | ・引継ぎを行なっている。                    |                            |
|              | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                                             | ○    |  | ・OT、PtHによる指導助言を受けている。           |                            |
|              | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある                                                              | 実施なし |  |                                 |                            |
|              | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している                                                              | ○    |  |                                 |                            |
|              | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                                                       | ○    |  |                                 |                            |
|              | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている                                           | ○    |  | ・学習会、先輩保護者と語る会等は実施したが、十分ではなかった。 | ・家族支援プログラムの実施に向けて取り組んでいます。 |
| 保護者への説明      | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている                                                                           | ○    |  |                                 |                            |
|              | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○    |  |                                 |                            |

|         |    |                                                                            |      |  |                                                             |  |
|---------|----|----------------------------------------------------------------------------|------|--|-------------------------------------------------------------|--|
| 責任等     | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                              | ○    |  | ・療育中、または療育終了後においてその都度対応しています。                               |  |
|         | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                               | 実施なし |  |                                                             |  |
|         | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○    |  |                                                             |  |
|         | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                           | ○    |  | 「ひかりの子だより」や、その都度行事案内を出しています。                                |  |
|         | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している                                                          | ○    |  |                                                             |  |
|         | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている                                        | ○    |  |                                                             |  |
|         | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている                                         |      |  |                                                             |  |
|         | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している        | ○    |  |                                                             |  |
| 非常時等の対応 | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている                                         | ○    |  | ・子どもの安全な避難ができるよう、職員が災害を想定して訓練を実施しています。                      |  |
|         | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している                                          | ○    |  | ・事前に確認し、てんかん等の持病がある児童に対しては個々の緊急対応マニュアルを保護者に確認をとりながら作成しています。 |  |
|         | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている                                       | ○    |  | ・アレルギーのアンケートは実施しています。                                       |  |
|         | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している                                                  | ○    |  |                                                             |  |
|         | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている                                         | ○    |  | ・虐待防止委員会を設置し、研修等も行っています。                                    |  |
|         | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○    |  | ・利用契約時の説明において、保護者への理解を図っています。<br>・児童発達支援計画にも記載しています。        |  |

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 21日

事業所名 近江八幡市子ども発達支援センター

保護者等数(児童数) 43 回収数 31 割合 72 %

|             | チェック項目                                                                                                                         | はい   | どちらとも<br>いえない | いいえ | わから<br>ない | ご意見                                                                                                                            | ご意見を踏まえた<br>対応                                                      |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------|-----|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 環境・<br>体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか                                                                                                     | 97%  | 3%            | 0%  | 0%        | ・とても広い教室でのびのび遊んでいる。<br>・欲を言うともう少し広いスペースでできたらいいなと思う。<br>・広々としてすごしやすい。<br>・保護者の見学できるスペースを確保してほしい。                                | ・観察室から見学してもらえるスペースを作るようにします。                                        |
|             | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか                                                                                                            | 90%  | 10%           | 0%  | 0%        | ・子どもの人数や特性に合わせて配置されていると思う。                                                                                                     |                                                                     |
|             | 3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか                                             | 90%  | 0%            | 0%  | 10%       | ・さわってはいけないところに「×」や、開かないようにマジックテープがはってあったりしてとてもありがたい。                                                                           |                                                                     |
|             | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか                                                                         | 97%  | 3%            | 0%  | 0%        | ・子どもが鼻水を出したり舐めたりするので、ティッシュやアルコールが設置してあるのが嬉しい。                                                                                  |                                                                     |
| 適切な支援の提供    | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか                                                                                 | 94%  | 6%            | 0%  | 0%        |                                                                                                                                |                                                                     |
|             | 6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 97%  | 3%            | 0%  | 0%        | ・子どものことをよく見てもらっていると感じる。                                                                                                        |                                                                     |
|             | 7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか                                                                                                       | 94%  | 3%            | 3%  | 0%        | ・子どもの状態に合わせ、「今はチャレンジ」「今は見守り」の判断が的確。                                                                                            |                                                                     |
|             | 8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか                                                                                                     | 74%  | 13%           | 3%  | 10%       | ・いつもの遊びを繰り返していると思うが、子どもは安心して遊んでいる。<br>・もう少しふれあい遊びにバリエーションがほしい。<br>・ボールプールやブランコがとてもよかった。<br>・ボールプールの片付けは親同士の交流のきっかけになっておもしろかった。 | ・利用児の発達や特性に合わせた活動プログラムを組んでいけるよう、定期的に見直しを行っていきます。                    |
|             | 9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                                                                     | 実施なし |               |     |           |                                                                                                                                |                                                                     |
| 保護者への説明等    | 10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか                                                                                                  | 90%  | 10%           | 0%  | 0%        |                                                                                                                                |                                                                     |
|             | 11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか                                          | 97%  | 0%            | 3%  | 0%        |                                                                                                                                |                                                                     |
|             | 12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか                                                                                     | 87%  | 10%           | 0%  | 3%        | ・子どもの年齢がもう少し近い(小・中学生くらい)の先輩保護者と語る会があればもっとうれしい。<br>・特に父が親になりきれいていないので、「父」向けのプログラムがあると非常にありがたい。                                  | ・ペアレント・メンターの新規加入を呼びかけ、年齢層を広げられるように努めます。<br>・誰もが参加しやすいプログラムを考えていきます。 |
|             | 13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか                                                                             | 81%  | 19%           | 0%  | 0%        | ・家での過ごし方、発達状況、困りごとを共有してアドバイスがほしい。<br>・子どもも親も暖かく助言やアドバイスをもらい、とてもありがたい。                                                          | ・保護者さんの思いに応えられるよう、職員間で連携を図っていきます。                                   |
|             | 14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか                                                                                        | 90%  | 10%           | 0%  | 0%        | ・相談の場をもう少し増やすか、帰りのとき等に軽く話せる雰囲気作りをしてほしい。                                                                                        | ・気軽に相談していただける場を設けるよう努めます。                                           |
|             | 15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか                                                                                   | 87%  | 10%           | 0%  | 3%        | ・あまり保護者同士で話す機会がないと感じる。<br>・子どもの体調不良で参加できなかったが、機会があればたくさん参加したい。                                                                 | ・グループワークなど、保護者の交流の場や学び合いの機会を設定していきます。                               |

|         |    |                                                                                   |     |     |    |     |                                                                                                      |                                                          |
|---------|----|-----------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|----|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
|         | 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 87% | 10% | 0% | 3%  | ・迅速に対応してくれる職員とそうでない職員がいる。                                                                            | ・職員が同じ対応をできるよう、連携を図っていきます。                               |
|         | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか                                                 | 94% | 3%  | 0% | 3%  |                                                                                                      |                                                          |
|         | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか              | 77% | 13% | 0% | 10% | ・ホームページを見たことがなかったので、見てみたいと思う。<br>・LINE配信がありがたい。                                                      |                                                          |
|         | 19 | 個人情報の取扱いに十分注意されているか                                                               | 94% | 6%  | 0% | 0%  |                                                                                                      |                                                          |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか          | 80% | 10% | 0% | 10% | ・文書の配布はされているが、訓練はなかった。                                                                               | ・定期的に訓練を行っています。                                          |
|         | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか                                             | 75% | 6%  | 0% | 19% |                                                                                                      |                                                          |
| 満足度     | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか                                                                  | 91% | 6%  | 0% | 3%  | ・朝機嫌が悪い時があるため。<br>・行くとわかって、にこにこしたり嬉しそうにしている。<br>・反応が薄い我が子だが、通所と分かるのににこにこしている。                        |                                                          |
|         | 23 | 事業所の支援に満足しているか                                                                    | 91% | 6%  | 3% | 0%  | ・活動の内容がどのような形で今後の発達促進につながるのか解説、説明等があってほしい。<br>・活動自体は10分前に終わってしまう。帰りの準備含めての時間だと思うが、時間いっぱい活動の時間にしてほしい。 | ・丁寧に説明しながら実施していきたいと思います。<br>・時間を有効に使えるよう、プログラムを工夫していきます。 |